

第3回

バナナ・果物

消費動向調査

日本バナナ輸入組合
2007年8月
(8月7日はバナナの日)

目次

調査概要	2
調査結果	
よく食べる果物	3
健康・美容に良いと思う果物	4
興味のある果物の効能	5
間食・夜食として食べるもの	6
果物・バナナを食べることが多いタイミング	6
果物・バナナを食生活に取り入れたいと思うタイミング	7
バナナの好き・嫌い	8
バナナの食用頻度	8
バナナを食べる場所	9
バナナを食べる理由	9
バナナを食べない時の理由・バナナを食べない理由	10
バナナの特徴認知	11
バナナの特徴認知後の食用意向	12
バナナについて知りたいこと	13
バナナの購入者	14
統計資料	15

調査概要

●調査目的

本年で3回目を迎える『バナナ・果物消費動向調査』ですが、本年は、バナナがどんな時に、どのような場所で取り入れられているかなどを把握するため、食生活におけるバナナのポジショニングを探ってみました。

●サマリー

バナナは3年連続よく食べる果物で1位となりました。さらに、健康・美容に良いと思う果物で2位、好きな果物では3位と上位を占め、輸入果物でありながら日本人にとって身近な果物であり、健康や美容に良いと認識され食べられている果物であることが裏付けられました。

●調査対象 : 全国16歳から89歳の3402人(男1701人、女1701人)

●調査時期 : 2007年5月30日から31日

●調査方法 : インターネットアンケート

●属性割付 :

		人数
合計		3402
性別	男	1701
	女	1701
性別一年齢層	男-10代	155
	男-20代	155
	男-30代	309
	男-40代	309
	男-50代	309
	男-60代	309
	男-70歳以上	155
	女-10代	155
	女-20代	155
	女-30代	309
	女-40代	309
	女-50代	309
	女-60代	309
	女-70歳以上	155

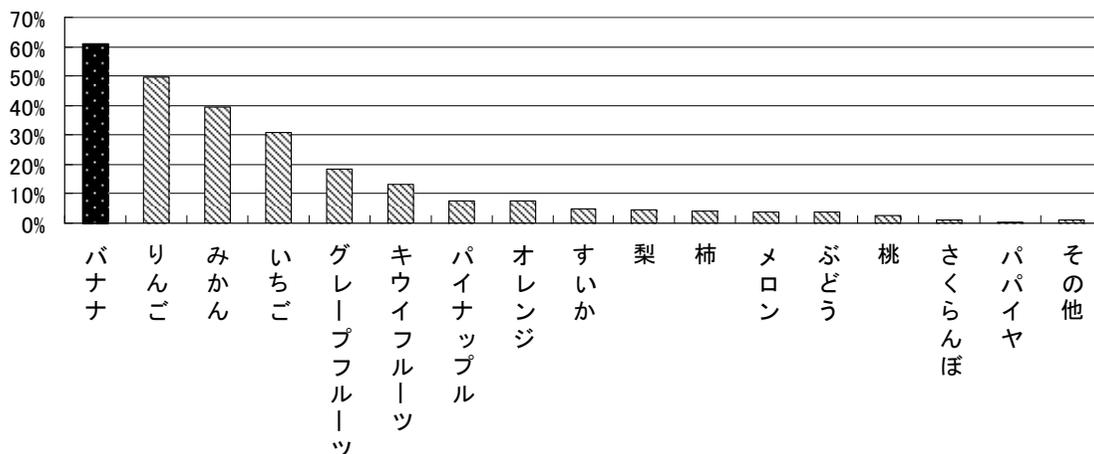
よく食べる果物

よく食べる果物では、3年連続バナナが1位でした。

Q. あなたがよく食べる果物をお選びください。(3つまで n=3154)

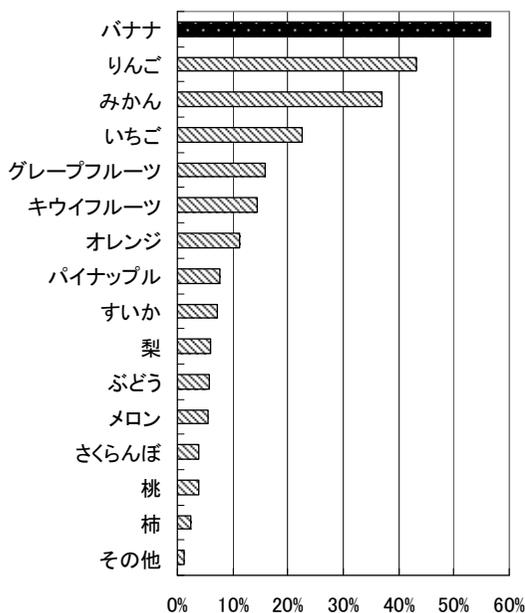
「バナナ」・・・60.9%、「りんご」・・・49.7%、「みかん」・・・39.4%

2007年調査



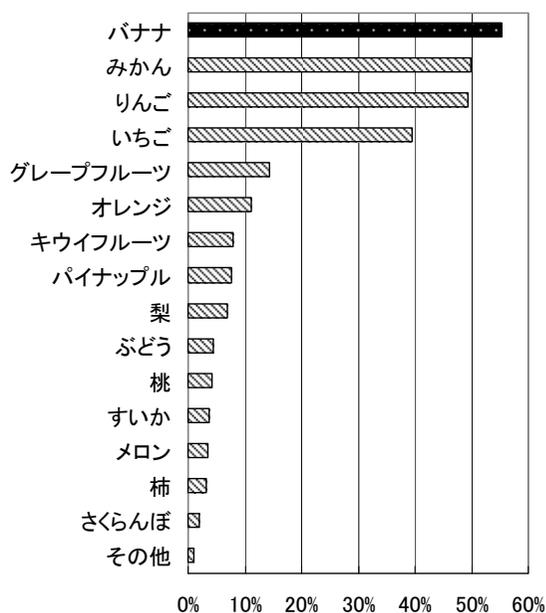
Q. あなたがよく食べる果物をお選びください。

(3つまで n=2979) 2006年調査



Q. あなたがよく食べる果物をお選びください。

(3つまで n=5711) 2005年調査



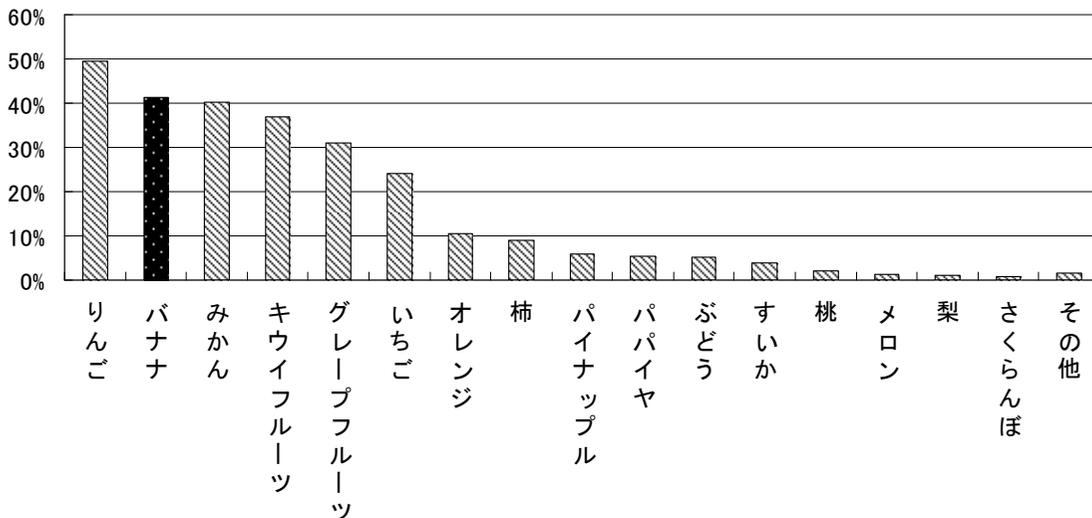
健康・美容に良いと思う果物

健康・美容に良いと思う果物を聞いたところ、昨年同様りんごに続き、第2位でした。

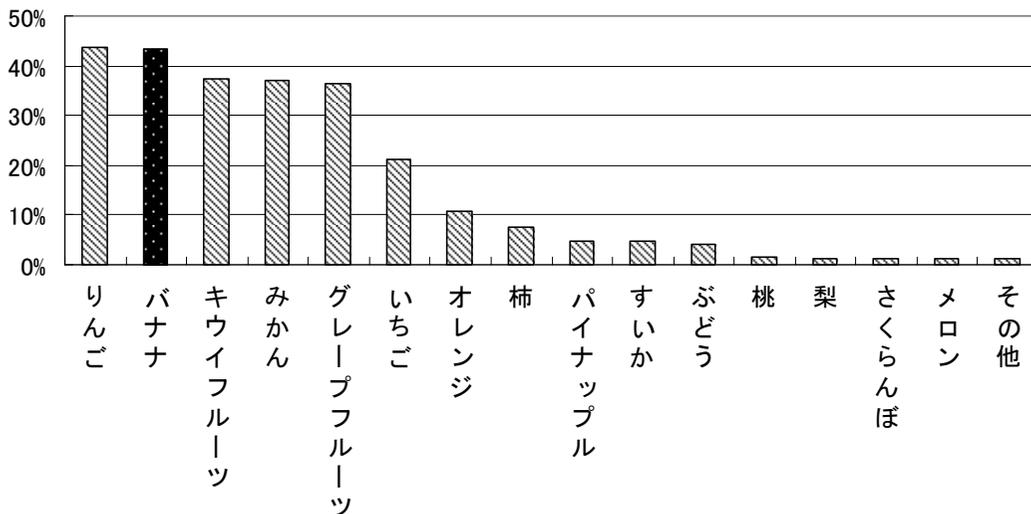
Q. 特に健康・美容に良いと思われる果物をお選びください。(3つまで n=3402)

「りんご」・・・49.6%、「バナナ」・・・41.2%、「みかん」・・・40.3%

2007年調査

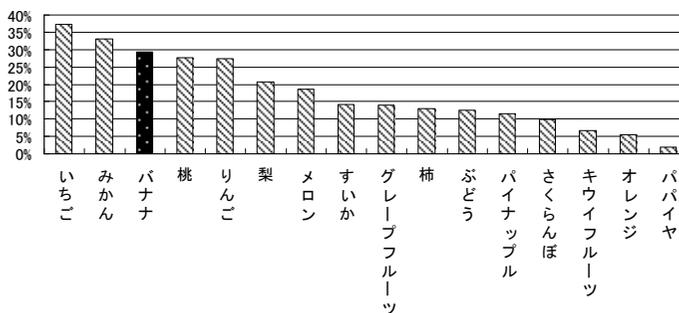


Q. 特に健康・美容に良いと思われる果物をお選びください。(3つまで n=2979) 2006年調査



● あなたが好きな果物をお選びください。(3つまで n=3402)

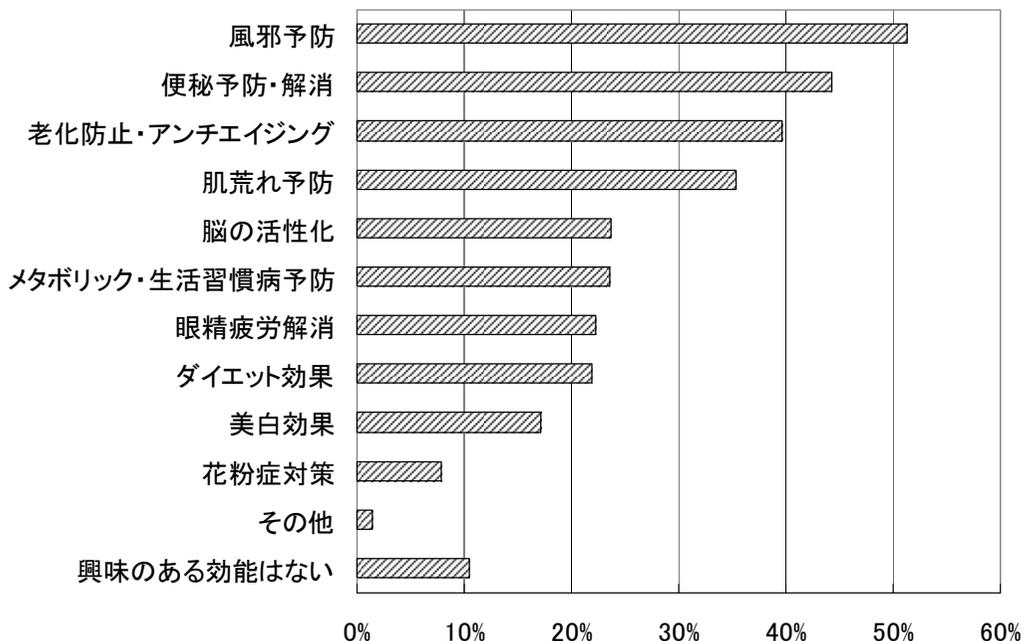
本年は好きな果物でも
バナナが上位になりました。



興味のある果物の効能

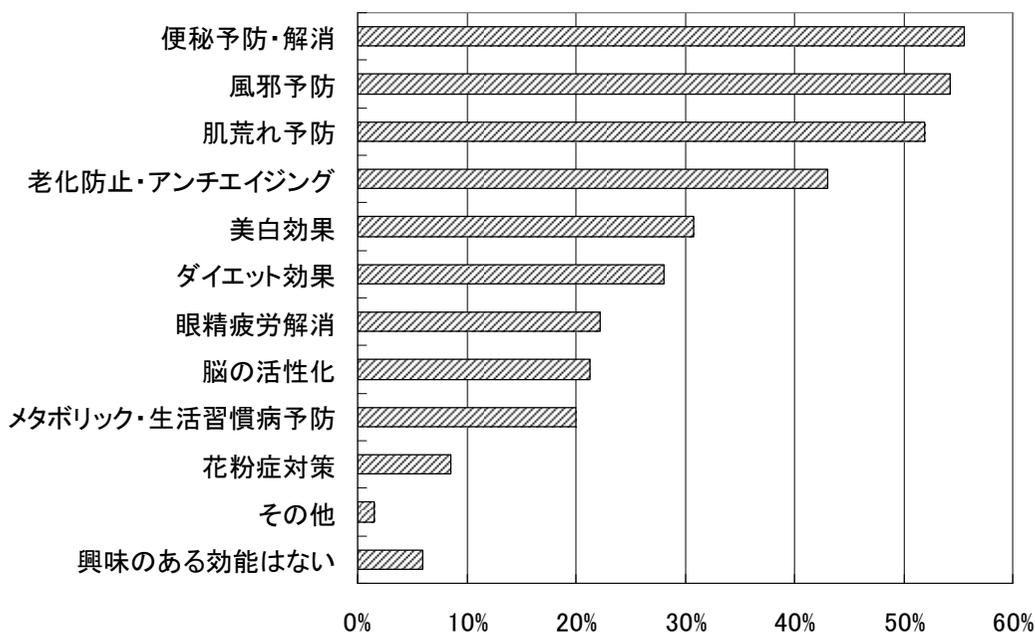
Q. 果物の効能の中で特に興味のある効能をお選びください。(複数回答 n=3402)

「風邪予防」・・・51.4%、「便秘予防・解消」・・・44.2%、となり、
消費者の健康意識が高いことがわかります。



●女性だけのグラフ(n=1701)

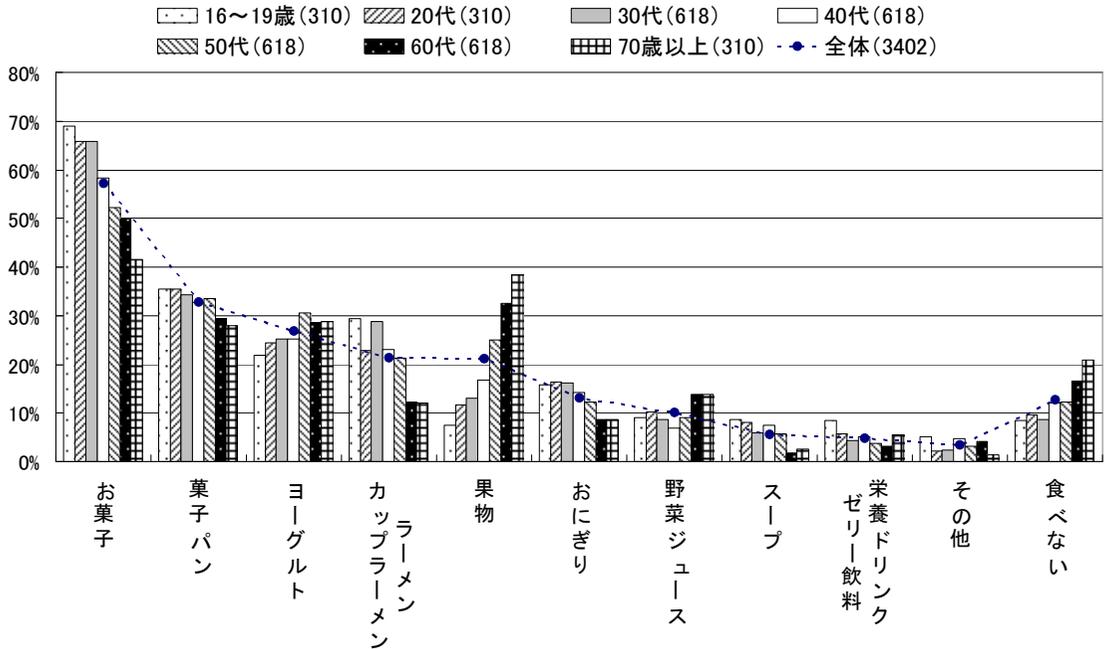
女性では「便秘予防・解消」・・・55.6%と最も高く、「風邪予防」、「肌荒れ予防」、「老化防止・アンチエイジング」、「美白効果」の順になっており、女性は美容面にも期待していることがうかがえます。



間食・夜食として食べるもの

Q. 小腹がすいた時(間食・夜食)にどのようなものを食べているかお答えください。(3つまで)

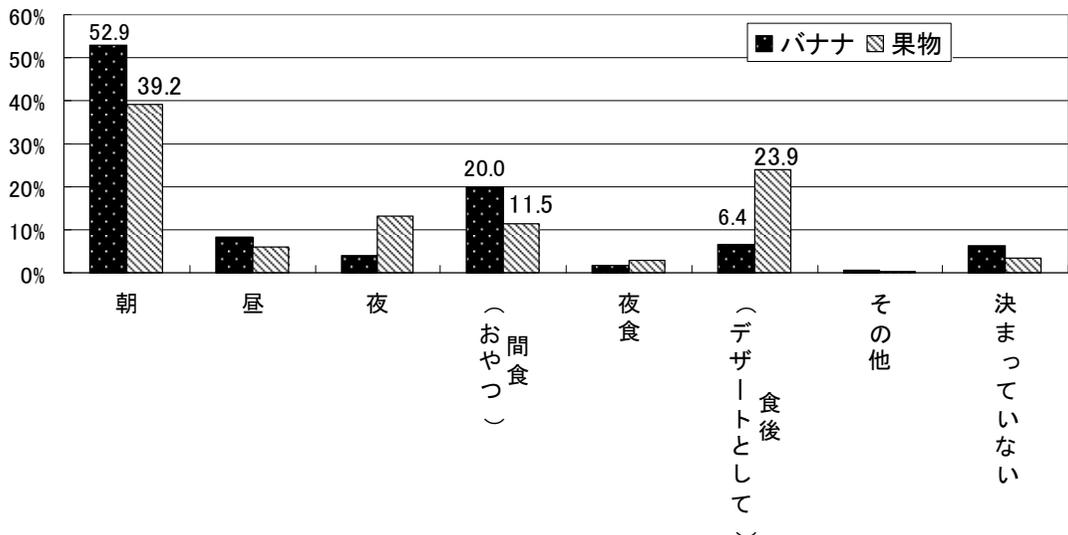
小腹がすいた時に食べられているものとしては「お菓子」・・・57.2% が最も多く、年代別に見ると、若年層ほど「お菓子」を食べるケースが、逆に高年層になるにつれ、「果物」を食べるケースが高くなっていることがわかります。



果物・バナナを食べることが多いタイミング

Q. あなたは果物・バナナをいつ食べる人が多いですか。(果物 n=3154, バナナ n=2902)

バナナ、果物ともに圧倒的に「朝」に食べられています。バナナでは「間食(おやつ)」が、果物全体では「食後(デザートとして)」が続いており、果物全体と比較するとバナナはやや違ったポジションであることがうかがえます。

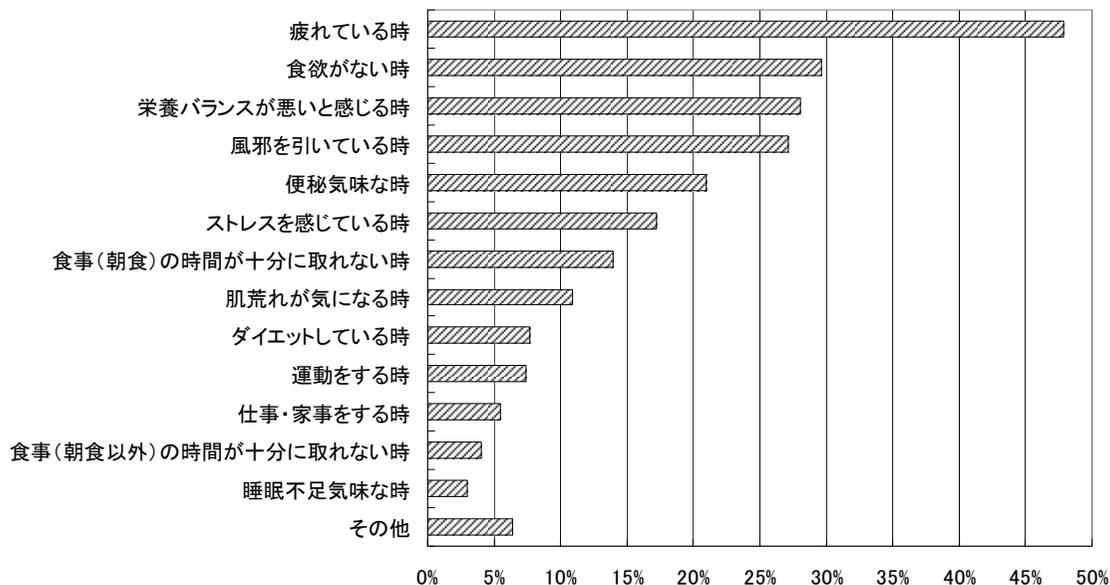


果物・バナナを食生活に取り入れたいと思うタイミング

Q. 特に果物を食生活に取り入れたいと思うのはどのような時ですか。(3 つまで n=3154)

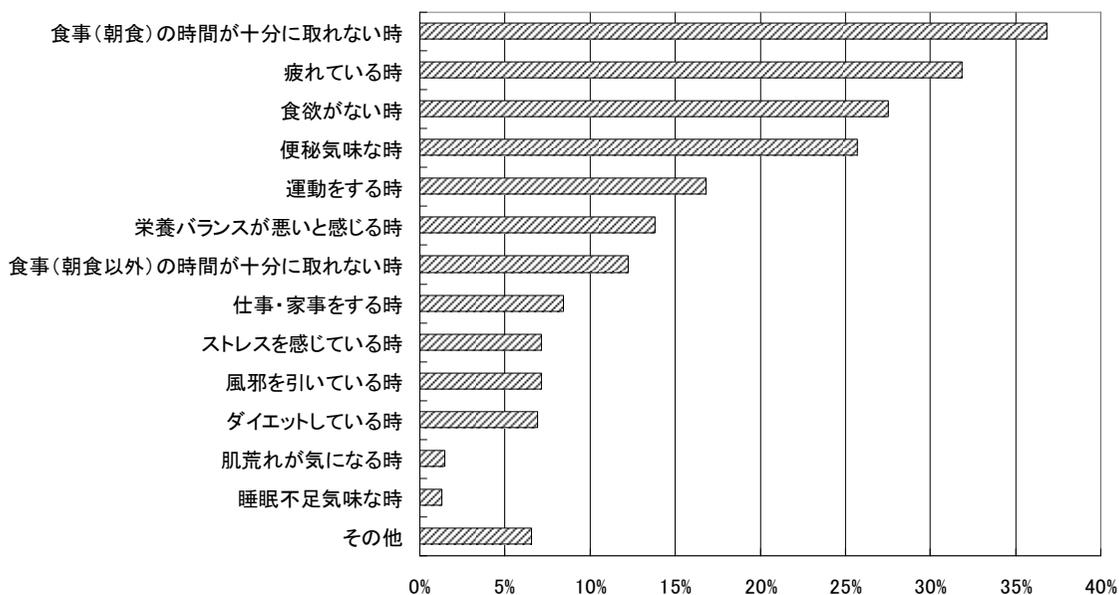
「疲れている時」・・・47.9%、「食欲がない時」・・・29.6%、

「栄養バランスが悪いと感じる時」・・・28.1%



Q. 特にバナナを食生活に取り入れたいと思うのはどのような時ですか。(3 つまで n=2902)

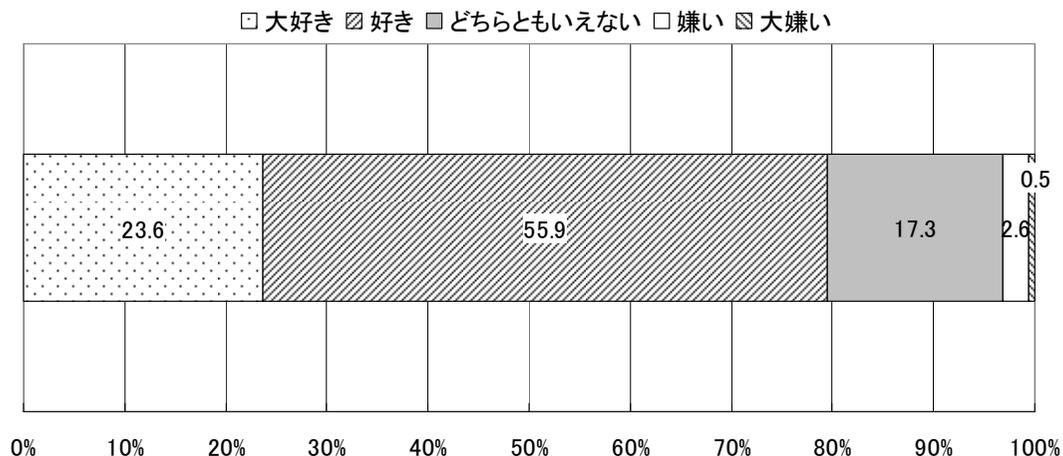
バナナは「食事(朝食)の時間が十分に取れない時」や「疲れている時」、「食欲がない時」に取り入れたいと思う人が多く、バナナは、手軽な栄養補給源として食べられているようです。



バナナの好き・嫌い

Q. あなたはバナナが好きですか。(単数回答 n=3402)

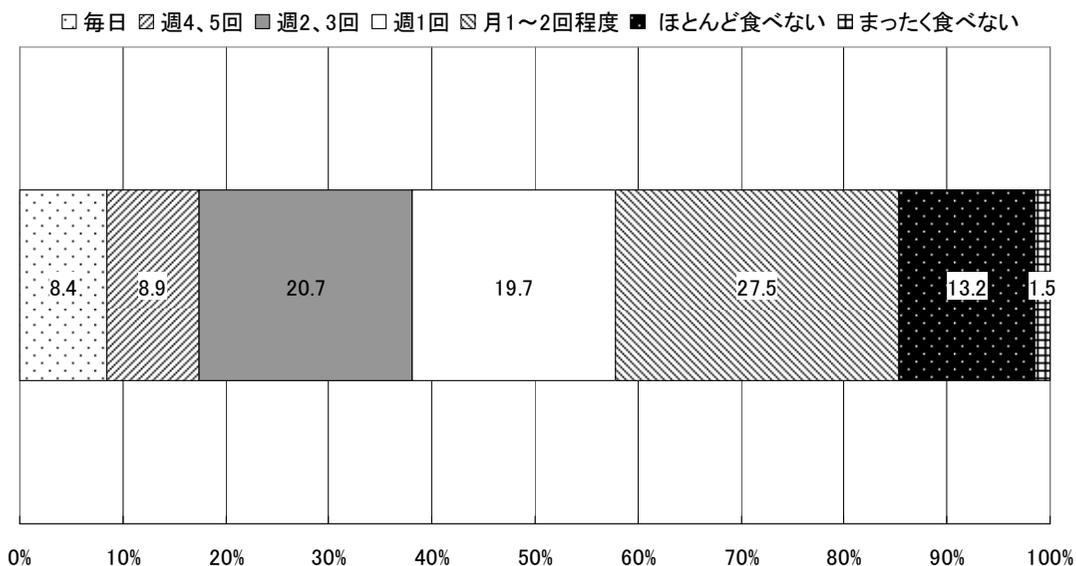
「嫌い」…2.6%、「大嫌い」…0.5%と、バナナを嫌いな人はほとんどいないことがわかります。また、ただの「好き」ではなく、「大好き」な人が2割もいることがわかります。



バナナの食用頻度

Q. バナナを食べる頻度をお答えください。(単数回答 n=3402)

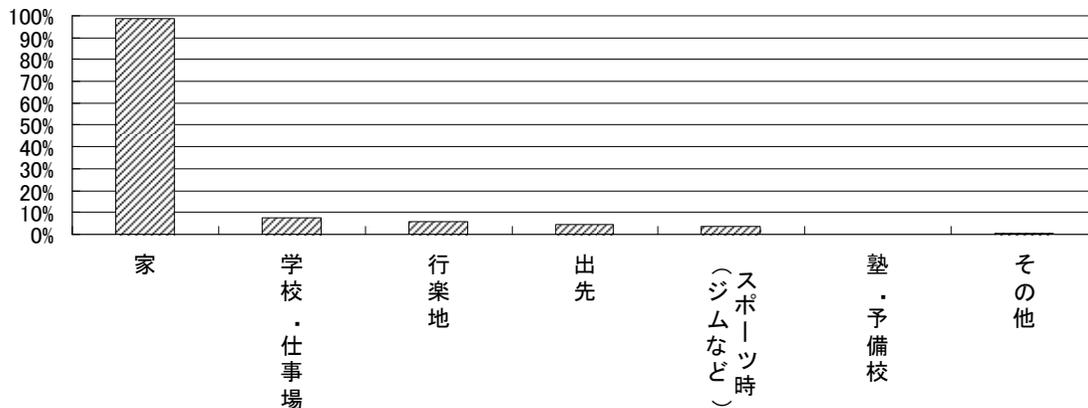
「毎日」…8.4%、「週4、5回」…8.9%、「週2、3回」…20.7%、「週1回」…19.7%で、週1回以上バナナを食べる割合が約6割を占めています。



バナナを食べる場所

Q. あなたはバナナを普段どこで食べていますか。(複数回答 n=2902)

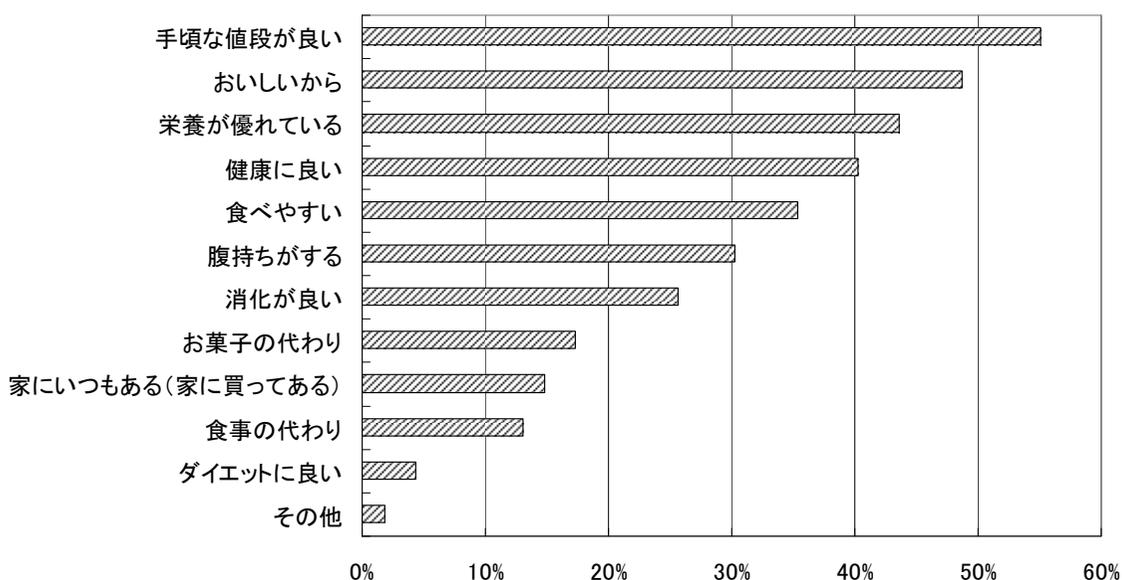
「家」・・・98.5%と、圧倒的に「家」でバナナを食べていることがわかります。



バナナを食べる理由

Q. あなたがバナナを食べる理由をお選びください。(複数回答 n=2902)

バナナは値段が手頃であり、おいしく、栄養が優れているといったことから食べられていることがわかります。

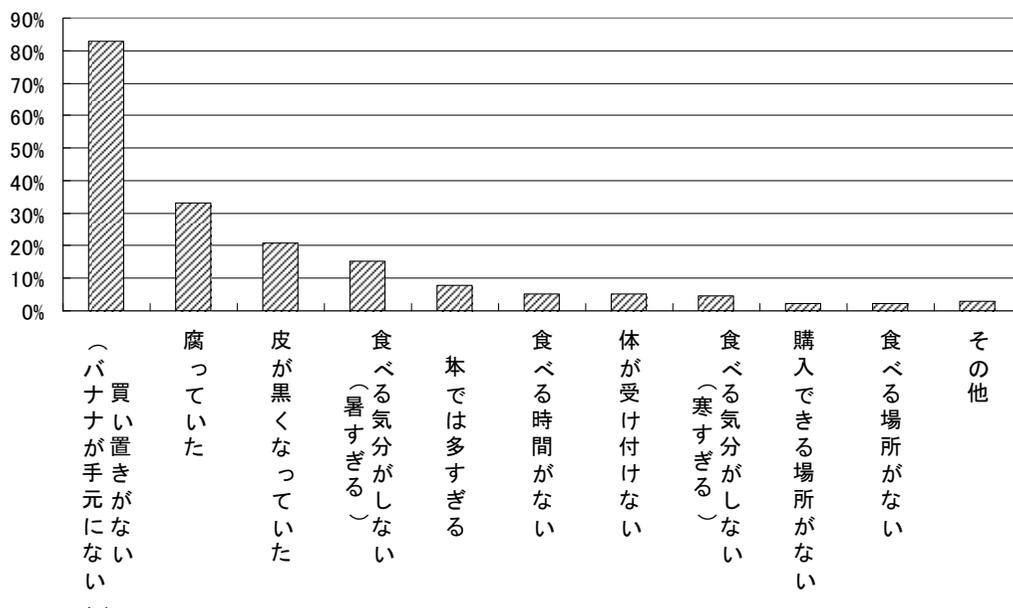


バナナを食べない時の理由（バナナを週 4、5 回から月 1～2 回程度食べる層）

Q. あなたがバナナを食べない時の理由としてあてはまるものをお選びください。

（複数回答 n=2615）

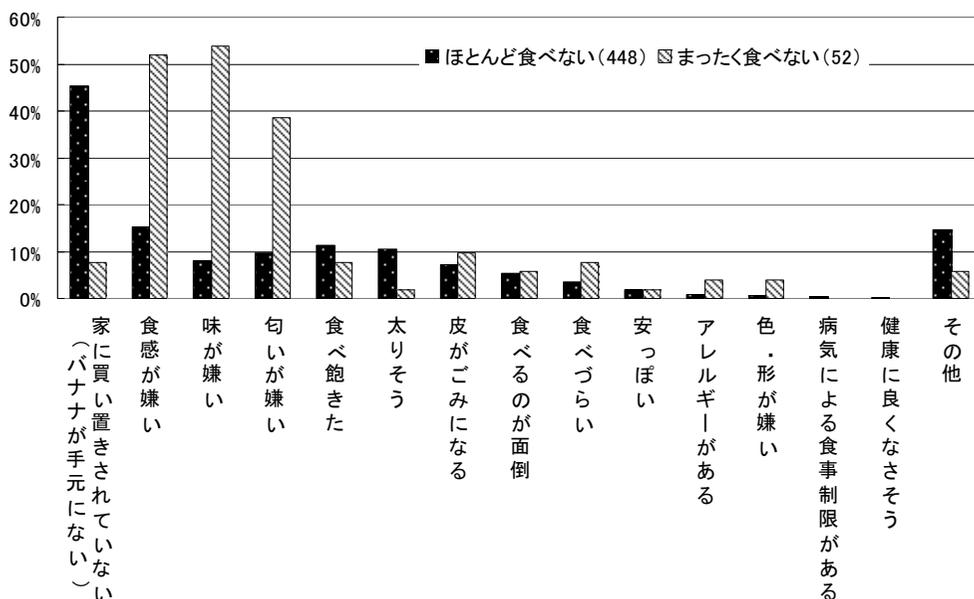
「買い置きがない」・・・82.9%と圧倒的ですが、次いで「腐っていた」、「皮が黒くなっていた」など保存・熟成に関する理由が食べない時の理由として大きいことがわかります。



バナナを食べない理由（バナナをほとんど・まったく食べない層）

Q. あなたがバナナを食べない理由としてあてはまるものをお選びください。（複数回答）

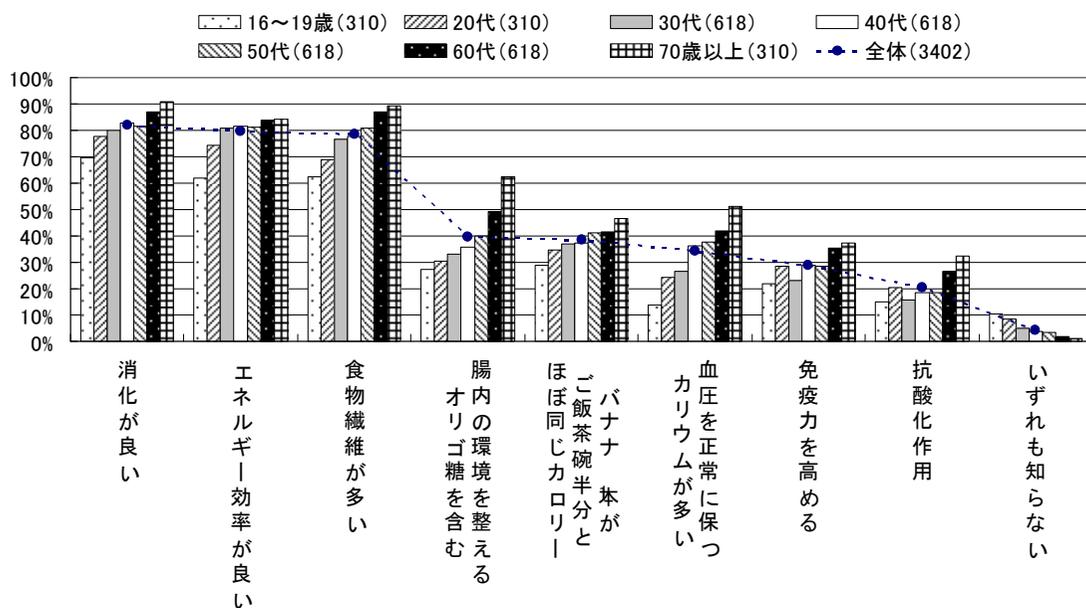
まったく食べない層では、やはり「味が嫌い」、「食感が嫌い」、といった理由が高かったが、ほとんど食べない層では、圧倒的に「家に買い置きされていない」という理由であった。実際はバナナが好きであるが、家に買い置きがないから食べないほとんど食べない層がいることがわかります。



バナナの特徴認知

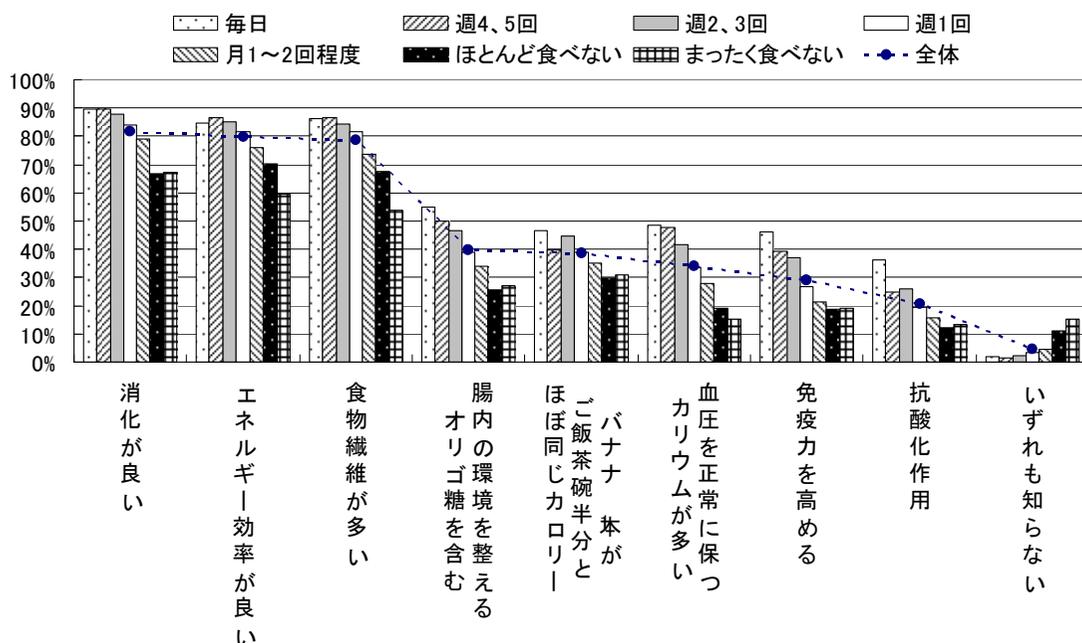
Q. バナナの特徴で知っているものをお選びください。

若年層にもある程度バナナの特徴を認知されていることがわかります。



●バナナを食べる頻度別のグラフ

バナナを食べる頻度が高い層では一般的な特徴認知以外の部分についても特徴を認知して食べていることがうかがえます。

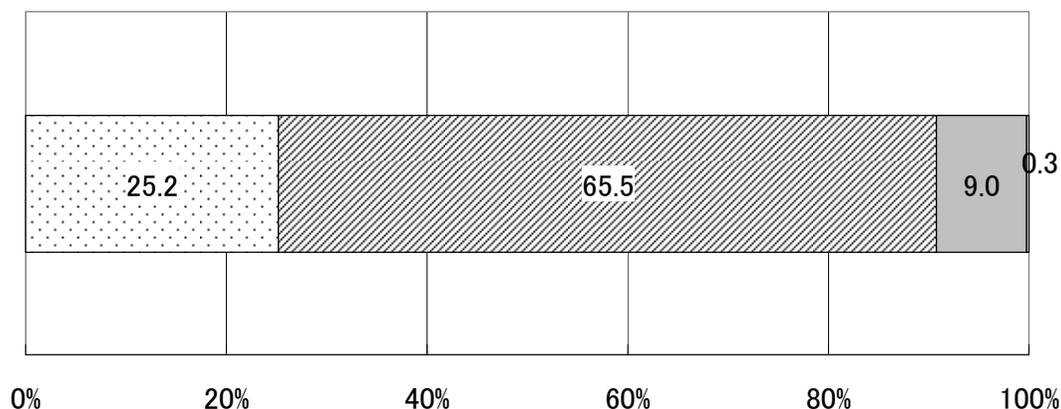


バナナの特徴認知後の食用意向

Q. バナナの特徴を知って、あなたはどのくらいバナナを食べようと思いますか。(n=3402)

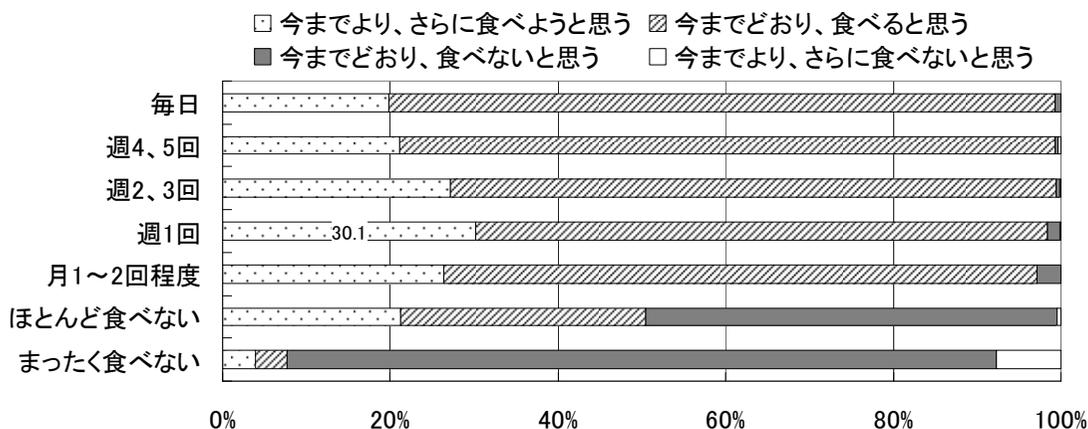
昨年同様、2割以上が「今までよりさらに食べようと思う」と回答しています。

- ▨ 今までより、さらに食べようと思う
- ▩ 今までどおり、食べると思う
- 今までどおり、食べないと思う
- 今までより、さらに食べないと思う



●バナナを食べる頻度別のグラフ

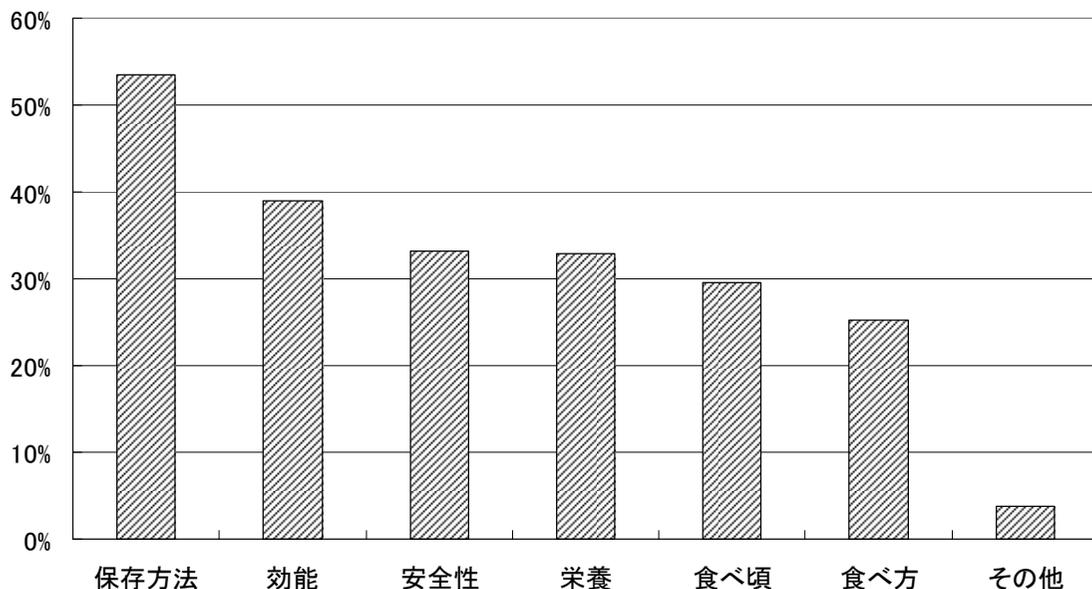
バナナを食べる頻度が週1回の層では、バナナの特徴を認知したことで、これまでよりもさらに食べようとしている人が約3割いることがわかります。



バナナについて知りたいこと

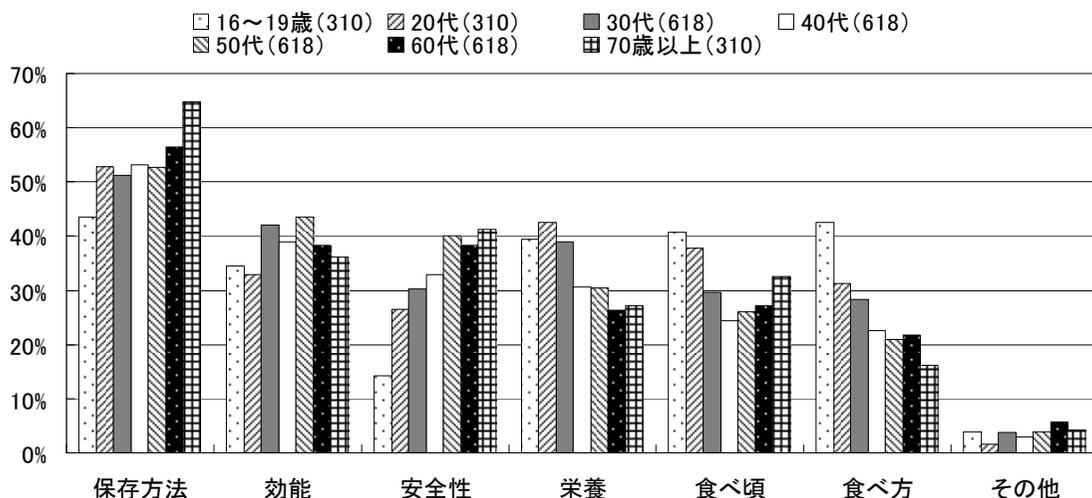
Q. あなたがバナナについて知りたいことをお選びください。(複数回答 n=3402)

「保存方法」・・・53.4%、「効能」・・・39.0%、「安全性」・・・33.2%、となり、「保存方法」を知りたい人が多いことがわかります。



●年代別のグラフ

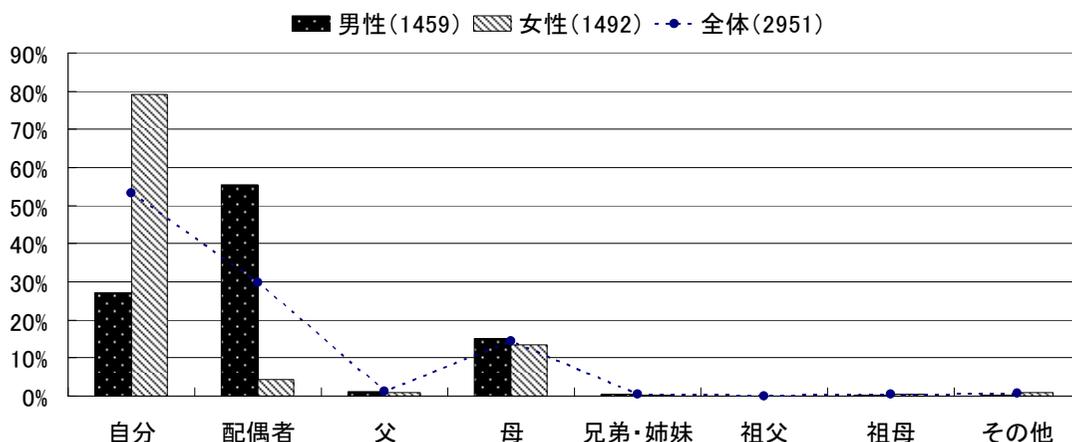
16歳～19歳の若年層では、「安全性」について知りたい人は少なく、「食べ頃」、「食べ方」について知りたい人が多いことがわかります。



バナナの購入者

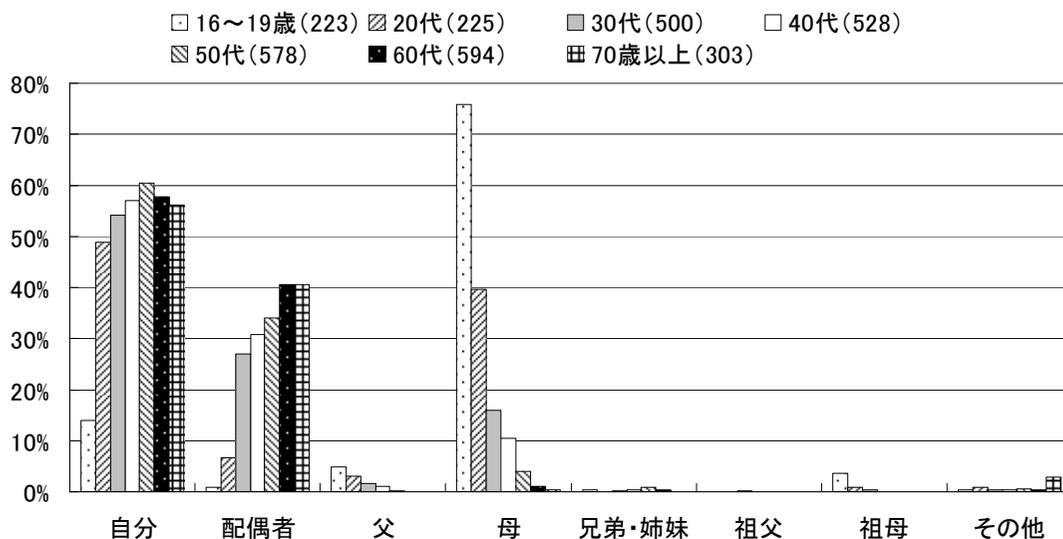
Q. 普段主にバナナを購入するのはどなたですか。(単数回答 n=2951)

全体では「自分」・・・53.4% と、半数以上を占めていることがわかりました。また性別でみると、男性は自分で購入するケースがかなり低いことがわかります。



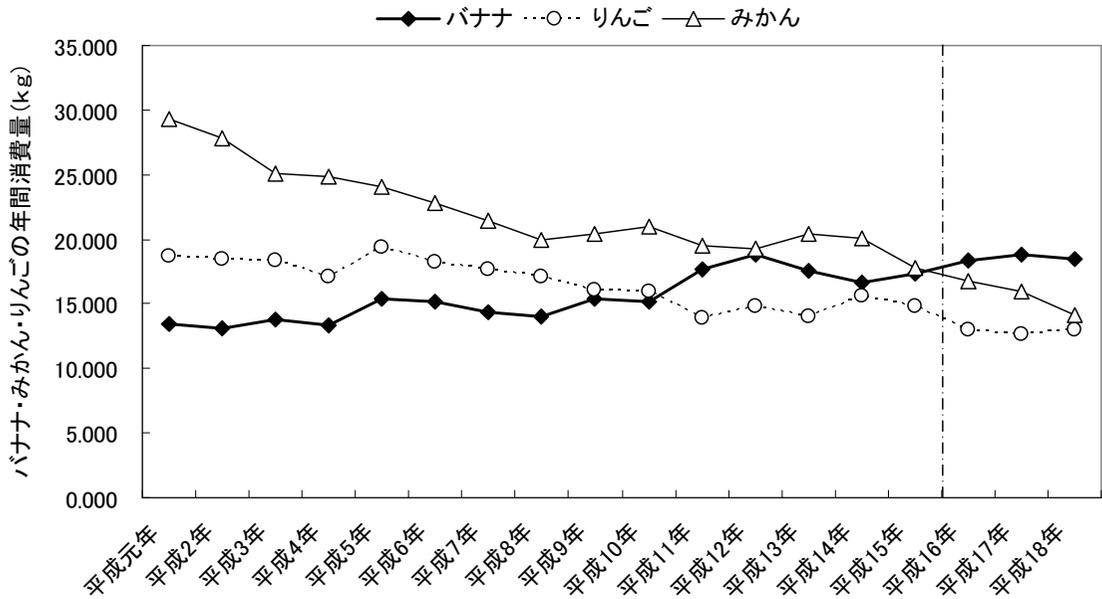
●年代別のグラフ

若年層では、母親が買うことがほとんどであることがわかります。

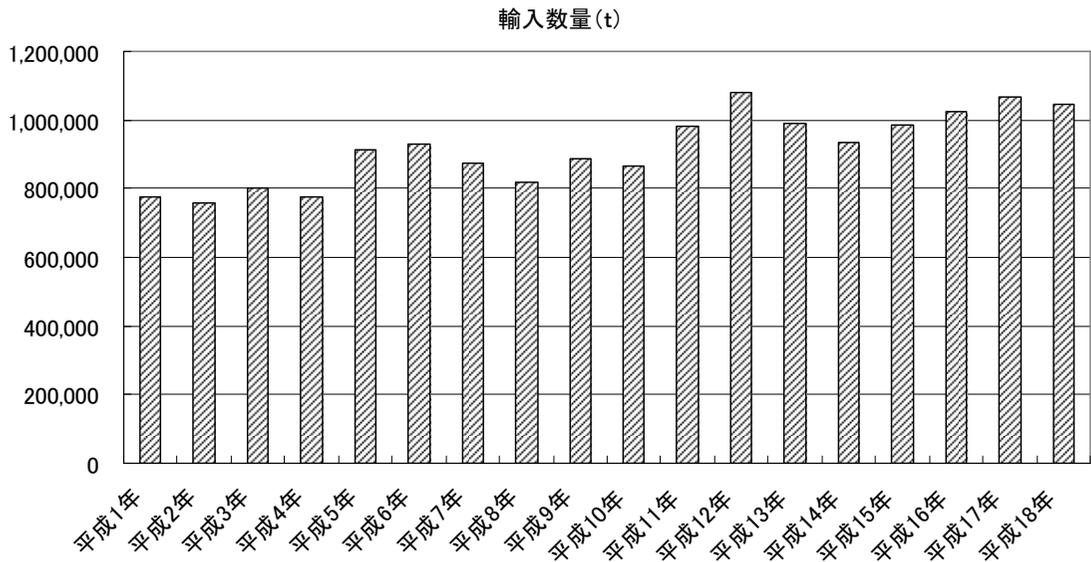


統計資料

総務省統計局家計調査の結果でバナナは、平成16年より果物の年間消費量の1位をキープしています。



財務省貿易統計のデータでは、平成18年のバナナの輸入数量は、前年よりやや減少していますが、輸入果物の中では最も輸入量が多い果物です。



発行

日本バナナ輸入組合

東京都千代田区内神田 1-3-1 トーハン第三ビル

お問合せ先

日本バナナ輸入組合広報室

東京都千代田区二番町 4-3

TEL 03-3288-7244 FAX 03-3288-7305

担当 古川 ・ 富澤

バナナ大学ホームページ

<http://www.banana.co.jp>